



かがやき



学校教育目標：確かな学力と豊かな人間性をもち、自ら伸びる子どもの育成

自ら学ぶ

認め合う

元気

《No.2》 令和8年5月11日



今年度はじめての授業参観



4月24日(金)に、授業参観・学校説明会・PTA総会・学級懇談会等を行いました。今年度初めての授業参観日ということもあり、緊張気味の児童も多かったようですが、新しい学年に進級し、気持ちも新たにやる気に満ちた姿を観ていただけたと思います。中には遠足の日のお弁当の日に向けて保護者と一緒にメニューを考えていた学年もありました。

授業参観後も、学校説明会・PTA総会・学級懇談会など盛りだくさんな日となりましたが、ご理解とご協力をいただき、スムーズな新年度のスタートを切ることができました。

学校説明会では、児童へ失敗を恐れずチャレンジしてほしいという思いを学校は持っていること、そのために家庭でも結果だけではなく、チャレンジしているその過程を評価していただきたいということをお伝えしました。児童の中には「失敗を恐れずチャレンジする」という言葉をさらに超えた「チャレンジした時点で失敗じゃないじゃん」ということを言ってくれる素敵な子もあり、そういった子供たちを学校と保護者と地域でどんどん育てていきたい、増やしていきたいと考えています。どうかご協力お願いいたします。



文部科学省指定「教育課程柔軟化サキドリ研究校」

4月24日(金)の学校説明会では、今年度と来年度の2年間、文部科学省の指定(教育課程柔軟化サキドリ研究校)を受けるということも伝えさせていただきました。

新しい学習指導要領では、各学校において教科の時間数がある程度増減し、学校の実態に応じた新たな学習に挑戦できるようになります。本校はその取組をサキドリして進めていきます。具体的には、教科の一部の時間を児童が探究活動を行う時間に振り分け、昨年度末に5・6年生がマツダや三次市環境政策課と連携して取り組んだ、二酸化炭素を含んだ肥料で作物を育てる実験を継続・発展させていきます。また、生じた時間の一部は先生方の研修の時間にも割振り、児童が探究活動を自ら実践できるような授業づくりの研修を行っていきます。この先生方の研修の日は児童は早めに下校することになります。月中行事の中の「サキドリ研修」がこの日に当たりますので、ご理解ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

神杉小学校での取り組み①

・授業数の柔軟化について

国語、算数、外国語、道徳、総合、特活を除く各教科から5～10時間を削り、児童が探究を行う時間を30時間、先生の研究の時間を10時間作り出しました。

先生の研究＜サキドリ研修＞
児童は早く下校

児童の探究＜神タイム＞
市の環境政策課
マツダ
神杉小
三者で協力して



新入生歓迎遠足



5月1日（金）は新入生歓迎遠足の日でした。朝から小雨が降り、遠足を中止にするかどうか迷いましたが、多少の雨に負けたくましさを持ってほしいという願い、6年生が新入生歓迎の準備をしていたので、それを遠足の中で披露させてあげたいという気持ち、場合によっては途中で引き返すことになったとしても、上級生と下級生が手をつないで一緒に歩くだけでもいい思い出になると判断し、防寒対策や安全対策等を十分に行なったうえで決行することにしました。

いざ、遠足に出発すると、風土記の丘までの道中は空を見上げるとすぐ近くまで雨雲が迫っているにもかかわらず、子どもたちの真上だけ青空がのぞき、全く雨が降りませんでした。風土記の丘の屋根のある場所に到着するとぽつぽつ雨が降ってきました。そのため、少し狭かったですが、そこで簡単なレクを少し行ったのち、弁当を食べました。弁当を食べている間、雨は降り続けましたが、弁当後の縦割り班で遊ぶ時間になると、また青空がのぞき、外でレクを行うことができました。

帰る時間になり、少し雨が降りましたが、おおむね、天候に恵まれた遠足を満喫することができました。6年生がレクを一生懸命考えたこと、てるてる坊主を作って祈ってくれた人がいたこと、そして日ごろのみんなの行いを見て、神様が心に残る遠足になるようお願いを聞き入れてくれたような気がしました。

最後に、この日は今年度最初のお弁当の日でもありました。いろいろとご家庭でもご協力いただき、ありがとうございました。



本の寄贈について



本校卒業生の駒澤 幸治様より、今年度も引き続き、月刊誌『子供の科学』『たくさんのふしぎ』を寄贈していただいています。3階の図書コーナーに置いていつでも読めるようにしています。科学的な好奇心をかきたてるような内容で、とても勉強になる本です。身の回りのことに関心をもつきっかけになるよう活用していきます。